

## 生産者の皆様へ

### オルトラン®粒剤 (農林水産省登録第 19993 号) の登録内容変更についてのお知らせ

平成 26 年 11 月 17 日付で、以下の登録内容が変更となりました。

日本では、農薬の安全性を一層担保するために、今年から短期暴露評価が導入されることになりました。この評価にあたり、オルトラン粒剤は自主的に登録縮小の申請をし、登録されました。これは、新たに登録された使用方法で想定される最大の農薬残留が認められる作物を、たとえ通常より非常に多く 1 日に摂取した場合でも、健康に影響を与えないようにするためです。このため、生産者の皆さまにおかれましては、以下の新しい登録内容にてご使用いただきますようお願いいたします。

#### ●農薬登録の削除作物について

**下記作物への適用が削除されました。オルトラン粒剤の使用をしないようお願いします。**

作物名
ミニトマト
はつかだいこん

#### ●使用方法の変更作物について

**今後、オルトラン粒剤は、右表①のとおり農薬登録変更内容においてご使用願います。**

使用上の注意事項などについては、製品ラベルをご参照ください。

【表① オルトラン粒剤 使用方法変更内容 (変更部分のみ抜粋)】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフトを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アオムシ、コガ ヨウムシ アブラムシ類	3~6kg/10a (1~2g/株)	定植時	1回	植穴処理	2回以内 (定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は1回以内)
	アブラムシ類	6g/m <sup>2</sup>	育苗期	1回	散布	
トマト	アブラムシ類 オンシツコナジミ	3~6kg/10a (1~2g/株)	定植時	1回	作条散布 又は 植穴処理	1回
きゅうり なす	アブラムシ類 アザミウマ類 オンシツコナジミ				株元散布	
ピーマン	アブラムシ類	2g/株	定植時	1回	植穴処理	
はくさい	アオムシ、コガ ヨウムシ アブラムシ類	3~6kg/10a (1~2g/株)	定植時	1回	株元散布	
ブロッコリー	ヨウムシ	6kg/10a (2g/株)	定植時	1回	作条散布	1回
だいこん	アオムシ、コガ アブラムシ類	3~4kg/10a	は種前	1回	株元散布	
かぶ	アブラムシ類	4kg/10a	収穫21日前 まで	2回 以内	散布	2回以内
れんこん			収穫14日前 まで		無人ヘリコプター による散布	
ばれいしょ	アブラムシ類	3~6kg/10a (1~2g/株)	植付時	1回	作条散布	3回以内 (植付時の処理は 1回以内、植付後は 2回以内)
たばこ	ヨウムシ、ネキリムシ アブラムシ類 アザミウマ類 ジャガイモガ ヤサイゾウムシ	3~6kg/10a	移植前		作条散布後 土壌混和	2回以内
	アブラムシ類		本畑初期	株元散布		

裏面もご覧ください。

## 生産者の皆様へ

### オルトラン®水和剤 (農林水産省登録第 19992 号) の登録内容変更についてのお知らせ

平成 26 年 11 月 17 日付で、以下の登録内容が変更となりました。

日本では、農薬の安全性を一層担保するために、今年から短期暴露評価が導入されることになりました。この評価にあたり、オルトラン水和剤は自主的に登録縮小の申請をし、登録されました。これは、新たに登録された使用方法で想定される最大の農薬残留が認められる作物を、たとえ通常より非常に多く 1 日に摂取した場合でも、健康に影響を与えないようにするためです。このため、生産者の皆さまにおかれましては、以下の新しい登録内容にてご使用いただきますようお願いいたします。

#### ●農薬登録の削除作物について

**下記作物への適用が削除されました。オルトラン水和剤の使用をしないようお願いします。**

作物名			
かんきつ	トマト	ミニトマト	ブロッコリー
だいこん	なす	かぶ	はつかだいこん

その他、「たかな」が非結球あぶらな科葉菜類から作物削除、「とうもろこし」が「未成熟とうもろこし」に変更されました。

#### ●使用方法の変更作物について

**今後、オルトラン水和剤は、右表②のとおり農薬登録変更内容においてご使用願います。**

使用上の注意事項などについては、製品ラベルをご参照ください。

【表② オルトラン水和剤 使用方法変更内容 (変更部分のみ抜粋)】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数	
キャベツ	ヨウムシ、ハスモンヨウ タマギンウハ	1000~1500	100~3002 /10a	収穫30日 前まで	1回	散布	2回以内 (定植時までの処理は 1回以内、定植後の 散布は1回以内)	
	アオムシ、コナガ、アブラムシ類	1000~2000					1回	
はくさい	カブラハバチ、ヨウムシ ハスモンヨウ	1,500	100~3002 /10a	収穫21日 前まで	3回以内	散布	3回以内	
	アオムシ、コナガ、アブラムシ類	1500~2000					1回	
レタス	ヨウムシ	1000~1500	100~3002 /10a	収穫21日 前まで	1回	散布	3回以内	
	オオタバコガ	1,000					1回	
非結球あぶらな 科葉菜類 (ケール、からしな みずな、ルッコラ たかなを除く)	アブラムシ類	1,500	100~3002 /10a	収穫開始 7日前まで	2回以内	散布	1回	
オクラ	アブラムシ類、ミドリヨコバイ	1,000					2回以内	
ばれいしょ	テントウムシダマシ幼虫 ヨウムシ	300	252/10a	収穫30日 前まで	3回以内	散布	3回以内 (植付時の処理 は1回以内、植付 後は2回以内)	
	アブラムシ類	300					3回以内	
てんさい	ヨウムシ テンサイモグリハナハエ	1000~1500	100~3002 /10a	収穫45日 前まで	3回以内	無人ヘリコプター による散布	4回以内 (育苗期の灌水は1回 以内、散布は3回以内)	
	トビハムシ類	1,000					1回	
	ヨウムシ	16					1.62/10a	1回
	トビハムシ類	60~100					2.5~32/m <sup>2</sup>	育苗期
未成熟 とうもろこし	アブラムシ類	1,000	100~3002 /10a	収穫7日 前まで	2回以内	散布	2回以内	
あずき	アズキノメイガ アブラムシ類、ヨウムシ			収穫14日 前まで	3回以内		3回以内	
だいず	ハスモンヨウ、マジンクイガ アブラムシ類	16	1.62/10a	収穫60日 前まで	3回以内	無人ヘリコプター による散布	3回以内	
	アブラムシ類						16	1.62/10a
たまねぎ	ネギアザミウマ	1000~1500	100~3002 /10a	収穫21日 前まで	5回以内	散布	5回以内	
		300	252/10a				5回以内	
		16	1.62/10a				5回以内	
ぶどう	チャノキイロアザミウマ フタテンヒメヨコバイ	1500~2000	200~7002 /10a	収穫60日 前まで	1回	散布	1回	
	ハマキムシ類	1,500					2回以内	
かき	カキタアザミウマ チャノキイロアザミウマ カキハタムシガ フジコナカイガラムシ	1,500	200~7002 /10a	収穫45日 前まで	2回以内	散布	2回以内	
茶	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ	1000~2000	200~4002 /10a	摘採45日 前まで	1回	散布	1回	
	チャノコクモンハマキ	1000~1500					1回	

裏面もご覧ください。

使用者の皆さまへ

**家庭園芸用ホクコーオルトラン<sup>®</sup>粒剤** (農林水産省登録第 19568 号)  
**の登録内容変更についてのお知らせ**

平成 26 年 11 月 17 日付で、以下の登録内容が変更となりました。

日本では、農薬の安全性を一層担保するために、今年から短期暴露評価が導入されることになりました。この評価にあたり、家庭園芸用ホクコーオルトラン粒剤は自主的に登録縮小の申請をし、登録されました。これは、新たに登録された使用方法で想定される最大の農薬残留が認められる作物を、たとえ通常より非常に多く 1 日に摂取した場合でも、健康に影響を与えないようにするためです。

このため、使用者の皆さまにおかれましては、以下の新しい登録内容にてご使用いただきますようお願いいたします。

● 農薬登録の削除作物について

下記作物への適用が削除されました。家庭園芸用ホクコーオルトラン粒剤の使用をしないようお願いいたします。

作物名
ミニトマト
はつかだいこん

● 使用方法の変更作物について

今後、家庭園芸用ホクコーオルトラン粒剤は、表①のとおり農薬登録変更内容においてご使用願います。使用上の注意事項などについては、製品ラベルをご参照ください。

【表① 家庭園芸用ホクコーオルトラン粒剤 (変更部分のみ抜粋)】

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	7セプトを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アオムシ、コナガヨウムシ、アブラムシ類	3~6g/m <sup>2</sup> (1株当り1~2g)	定植時	1回	植穴処理	2回以内 (定植時までの処理は1回以内、 定植後は1回以内)
	アブラムシ類	6g/m <sup>2</sup>	育苗期	1回	散布	
はくさい	アオムシ、コナガヨウムシ、アブラムシ類	3~6g/m <sup>2</sup> (1株当り1~2g)	定植時	1回	植穴処理	1回
トマト	アブラムシ類、オンシツコナジラミ				植溝散布 又は 植穴処理	
きゅうり、なす	アブラムシ類、アザミマダ、オンシツコナジラミ				株元散布	
ピーマン	アブラムシ類	1株当り2g			株元散布	
ブロッコリー	ヨウムシ	6g/m <sup>2</sup> (1株当り2g)			株元散布	
だいこん	アオムシ、コナガアブラムシ類	3~4g/m <sup>2</sup>	は種前	1回	植溝散布	
かぶ		4g/m <sup>2</sup>	収穫21日前まで		株元散布	1回
ばれいしょ	アブラムシ類	3~6g/m <sup>2</sup> (1株当り1~2g)	植付時	1回	植溝散布	3回以内 (植付時の処理は1回以内、 植付後は2回以内)

裏面もご覧ください。

使用者の皆さまへ

## 家庭園芸用ホクコーオ尔特ラン® 水和剤 (農林水産省登録第 19566 号) の登録内容変更についてのお願い

平成 26 年 11 月 17 日付で、以下の登録内容が変更となりました。

日本では、農薬の安全性を一層担保するために、今年から短期暴露評価が導入されることになりました。この評価にあたり、家庭園芸用ホクコーオ尔特ラン水和剤は自主的に登録縮小の申請をし、登録されました。これは、新たに登録された使用方法で想定される最大の農薬残留が認められる作物を、たとえ通常より非常に多く 1 日に摂取した場合でも、健康に影響を与えないようにするためです。

このため、使用者の皆さまにおかれましては、以下の新しい登録内容にてご使用いただきますようお願いいたします。

### ● 農薬登録の削除作物について

下記作物への適用が削除されました。家庭園芸用ホクコーオ尔特ラン水和剤の使用をしないようお願いします。

作物名			
かんきつ	ミニトマト	トマト	なす
ブロッコリー	はつかだいこん	だいこん	

その他、「とうもろこし」が「未成熟とうもろこし」に変更されました。

### ● 使用方法の変更作物について

今後、家庭園芸用ホクコーオ尔特ラン水和剤は、表②のとおり農薬登録変更内容においてご使用願います。使用上の注意事項などについては、製品ラベルをご参照ください。

【表② 家庭園芸用ホクコーオ尔特ラン水和剤 (変更部分のみ)】

作物名	適用害虫名	希釈倍率(倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数	
キャベツ	ヨトウムシ、ハスモンヨトウ タマナギンウバ	1000~1500		収穫30日 前まで	1回	散布	2回以内 (定植時までの処理は 1回以内、 定植後は1 回以内)	
	アオムシ、コナガ、 アブラムシ類	1000~2000						
はくさい	かブラハバチ、 ヨトウムシ ハスモンヨトウ	1500	100~300		ml/m <sup>2</sup>		3回以内	1回
	アオムシ、コナガ、 アブラムシ類	1500~2000						
レタス	ヨトウムシ	1000~1500			3回以内		3回以内	3回以内 (植付時の 処理は1回 以内、植付 後は2回 以内)
	オオタバコガ	1000						
ばれいしよ	テントウムシダマシ幼虫 ヨトウムシ	1000			2回以内		2回以内	1回
	アブラムシ類、 ジャガイモガ	1000~1500						
オクラ	アブラムシ類、 ミドリヨコバイ	1000			収穫開始 7日前まで		1回	1回
未成熟 とうもろこし	アブラムシ類	1000			収穫7日 前まで		2回以内	2回以内
ぶどう	チャ/キイロアザミウマ フタテンヒメヨコバイ	1500~2000		200~700	1回	1回		
	ハマキムシ類	1500						
かき	カキクダアザミウマ チャ/キイロアザミウマ カキハタムシ	1500	ml/m <sup>2</sup>	収穫45日 前まで	2回以内	2回以内		

裏面もご覧ください。